

幸運とは準備が

機会に出会うこと

ゴールデンウィークが終わり、現在は各学年、大きな行事に向けての準備が進んでいます。各学年の生徒一人一人が行事のねらいをしっかりと理解し、当日を迎え、充実した活動になることを期待します。また、運動部は市中総体、文化部は各種コンクールが夏に迫ってきています。それと並行して、生徒総会を開催したり、いじめ防止絆キャンペーンがあったりと、忙しい日々が続きます。そして1年生にとって初めての中間考査が市中総体後にあります。今後のスケジュールをしっかりと把握して、計画的に準備したいものです。しっかりとした準備が成果を生むと思います。

ある著名人がこのような言葉を残しています。「幸運とは、準備が機会に出会うこと」ととても意味深い言葉だと思います。多くの方は「幸せになりたい。何か自分に良いことが起こらないか」と願っているものだと思います。不幸に見舞われるより、ずっと明るく生活できる事を願うでしょう。でも、幸運や良いことは、ただ待っていてもなかなか出会えたり実感できたりするものではありませんよね。

よくスポーツ選手がインタビューに答える場面が放映されますが、とても興味深く聞いています。するとよくこんな言葉を発する選手達があります。「開き直ったら、偶然打てました。」「自分がそこにいたら、ボールがきたので思い切り蹴り込みました。」「周りの選手がよいパスを出してくれたので、シュートが決まりました。」「思い切って、技を掛けたら、たまたま決まりました。」「打ったところがラッキーで、得点が入りました。」おそらく、本心からの言葉なのだろうと思います。しかし、本当に偶然が重なったのかというときと違えますよね。選手達は、日頃、自分の体を鍛え、様々な場면을想定して練習し、イメージトレーニングを繰り返し、試合当日に臨み、そして最高のパフォーマンスを目指します。これは、レベルの違いはあっても、プロ選手であれ、中高校生であれ同じだと思うのです。日頃、様々な場면을想定して準備し、日々繰り返し練習するからこそ、成果を発揮できる場面に出会い、その機会を生かすことができるのだろうと思います。試合で勝つ事、チーム力が向上して成果が上がる事、個々人の力や記録が伸びたことを実感できる喜び、これらが幸運とすれば、その幸運は、日頃の準備がしっかりとされる事によって、初めてその機会や場面が巡ってくるという事だと思います。

市中総体や各種コンクール、大会を目指している部活動も同じですよ。毎日の目的をもった練習が準備であり、巡ってきた場面が機会であり、その機会が生かされ、喜びが実感できるのだと思います。

部活動だけではありません。よく生徒達が「自分が昨日、勉強したところがたまたま試験に出ました。」と話す事があります。それも決して偶然ではなく、自分が取り組んだ準備がよかったからでしょう。まさしく、「幸運とは、準備が機会に出会うこと」なのだと思います。

5月も中旬になり、忙しい日々になります。心身のコンディションを整え、何をどのように準備して、取り組むかを考え、計画性を持って物事に取り組む事も重要な事だと思います。自分で達成できそうな目標をクリアしながら、自信をつけ、無理な場合はその目標を修正しながら、どんなにゆっくりとした歩みでも、少しずつ進めるとよいと思います。そこに幸運があるかもしれません。